



平成27年 7月24日

学校だより 第5号
苫小牧市立苫小牧東小学校

太陽の子

ホームページURL <<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/tomahigashi-es/index.html>>

東小の教育目標

東小の子は太陽の子

- 進んで学ぶ かがやく子
- 思いやりある あたたかい子
- 心身ともに健康な 明るい子

夏休みがやってきた

校長 寺田 洋子



夏本番。4月から74日の登校を経て、その間、学校生活の中での学びや行事を経験する中で、子どもたちは成長というステップを一步一步と進めてきました。

いよいよ明日から夏休みが始まります。25日間は、毎日の生活の場と学びの場が家庭となり、自由な時間が多い中、過ごし方によっては、有意義なものになったり、けじめなく過ごしてしまいとんでもない方向に進んだりします。

まずは、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣を崩さず規則正しい生活を継続させてください。

◆ 健康・安全を第一に

交通事故、不審者などについて、ふだんから十分に注意をして、生活する態度を身につけさせたいと思います。

◆ 自主性と自律性を育てる機会に

自分で進んで実行できる計画、特に、家族の一員としての仕事（お手伝い）についてできるよう協力してあげてください。また、決めたことを継続し、意欲的に過ごせるよう努力させてください。

◆ 勤労と責任感を重んずる気持ちを

掃除をする、家族の仕事を手伝うなど、最後まで責任をもってやり遂げることを体験させるとよいと思います。

◆ 昔の話をしてあげる機会を



【1年生 初めてのプール学習】

ご両親をはじめ、おじいさん、おばあさんの苦労や楽しみについての話は、子どもに感銘を与え現在の自分の生活を見つめ直すよい素材となります。

「家族の一員」が実感できる夏休みを送りましょう。

自然は不思議

子どもたちは生き物が大好きで、本校のビオトープも、休み時間は子ども達でいっぱいになります。

2階には、佐藤先生に「東小アクアリウム」と称したビオトープにいる生き物を水槽で観察できるコーナー作っていただきました。水槽前では、たくさんの子が興味を持って観察しています。

自然は、見えないものを「なぜかな？」という疑問を持って観る力を与えてくれます。「魚捕り」や「虫捕り」もそうです。「思い通りにならないということ」を痛感する。思い通りにならないことが当たり前なんだ。「どうしたら採れるだろう」と工夫したり、探したりする。特に虫捕りはこういったことを大人に指導されなくても、数多く経験できます。また、自然経験が豊富な子どもほど、道徳観・正義感が身についている傾向があるという調査結果も出ております。自然に対する畏敬の念や、豊かな人間性を育てるためにも、夏休みは野山へ出かけましょう。



